

「5W1Hの分類わけ」指導案



こんなお子様に おススメ	文章構成が苦手・言葉の使い方や意味の理解をしていない
目的	言葉の種類分け
プリントの使い方	□の中の単語を種類ごとに分類わけして記入する。
ほめポイント	正解したとき・わからない時に聞きにこれた時・間違えたときに書き直しが出来たとき
補助・ヒントの 出し方	いつ・どこ・だれ・なにをしたの大きな分類を確認してから行くと、分類を理解して取り組みやすくなる 例：（いつ）＝時間・季節・日付など （誰）＝人物 （どこ）＝場所 （何をした）＝行動 その中から、学校がわからない場合は「学校は、季節なのか行動なのか場所なのか？どこかわかる？」と質問し 答えを導く。それでもわからない場合は、言葉の理解が出来ていないため、正しい答えを教えてあげるとよい。